

EひとEすと

いい いい

3

2024.March
No.324

JA東びわこ

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

私たちには持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

- 04…(地域のEすとニュース)
令和6年能登半島地震 被災者支援
ペットボトル茶・パックご飯
満載し出発
- 06…産学包括連携協定で地産地消拡大へ
滋賀県立大学学生へ農産物をPR
- 08…(今日から始める家庭菜園)
ホウレンソウ
- 09…(地域で輝くEひと)
多賀町藤瀬 坂本 勇さん
- 10…(特集)
令和5年度 JA東びわこ
自己改革の軌跡
- 20…(旬の野菜おいしさ伝え隊イチ押しレシピ)
とってもカンタン!!
キャベツのみそあえ

旬の野菜をおいしく食べよう 料理カード

とってもカンタン!! キャベツのみそあえ

材料(2~3人分)

◆キャベツ	1/5個(200g)
◆とりささ身	2枚
◆ニンジン	1/2本
◆レモン(ユズ)	少々
◆酒	大さじ1
◆塩	ひとつまみ
◆みそ	大さじ1
◆ごま油	適量
◆醤油	小さじ1/2
◆水	小さじ1

作り方

- ❶ キャベツを一口大に切る。ささ身は耐熱容器に入れ、酒・塩をまぶしラップをしてレンジで1分(500W)加熱する。粗熱がとれたら食べやすい大きさにほぐす。
- ❷ ニンジンは千切りにしてラップに包み、レンジで1分(500W)加熱する。
- ❸ すべての食材をボウルに入れ④の調味料を加えて和える。
- ❹ レモン(ユズ)の皮を千切りにしてのせる。



切り取って料理カードとして保存しましょう!!裏面の連絡先一覧と一緒に活用してくださいね♪

今月の食材

キャベツ

年間を通して栽培されていますが、季節ごとに特徴があります。
3~5月頃に出回る春キャベツは、巻きがゆるく、葉が軟らかいので簡単な調理がおいしいですよ。



あなたの町の JA共済代理店

あいしうちゅうて の しゅう
愛荘町香之荘911-1

有限会社 村川マイカーセンター

むら かわ まき じ
代表 村川 孫次さん

T E L 0749-37-2604

営業時間 9:00~18:00

定 休 日 日曜日・祝日・第2、第4月曜日

取り扱い 自賠責共済・自動車共済



経験豊富な整備士がお車の状態とお客様のご要望に合わせ、真心こめてしっかり整備いたします。皆さまのお車のパートナーとして長く寄り添います。お気軽にご相談ください。

人と暮らしのE関係

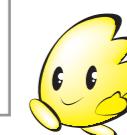
EひとEすと 3月号

発行 JA東びわこ 編集 企画総務部

〒522-0223
滋賀県彦根市川瀬馬場町922-1
TEL:0749-28-7860
FAX:0749-28-7888
URL <https://www.ja-higashibiwako.jp/>
E-mail info@east.jas.or.jp

令和6年
No.324

JA東びわこのお得なキャンペーンや
イベント情報が届く!!
公式LINEをぜひご活用ください♪



お手持ちのスマホで
読み取ってください!

PRINTED WITH
SOY INK
再生紙を使用しています。

何よりも地域のためになる
農業を目指したい



彦根市野良田町

たき ひとし
瀧 仁司さん(62)

主な生産品目

品目名	規模
水稻	10ha
クワイ	5a

(令和6年度)



昔と今で大きく変わった価値観

農家の3代目として、幼少期から農業に携わってきました。苦労して農業に勤しむ父の姿を見て、中学生卒業後は県外へ進学し、社会人になってUターンするまでは農業の世界から遠ざかっていました。父の手助けをしたいと思う半面、当時は休みなく働き苦労する農業のイメージが強く、まさか自分が農業を営むとは考えもつきませんでした。しかし事業承継後、自分が生まれ育ったこの地域で農業を営む責任を果たしたいという気持ちが大きくなり、先人が苦労して築いてきた地域農業を次の世代へバトンパスすることこそが自分の使命だと強く感じています。農業は、大きなポテンシャルを秘めた業種です。農業は、大きな面白さがあります。農業に取り組むための秘訣だと思います。

地域一丸でサステナブルな農業を



▲酒粕を原料とした肥料。令和5年度は「稻枝酒粕米部会」で部長として尽力しました。

農業の魅力は無限大

地域ならではの特色をひとつ挙げると、稻枝地域の農家で構成する「稻枝酒粕米部会」では、米を原料とする日本酒から生まれた酒粕を肥料にし、またその肥料を使って生産した米で酒を造る「循環型農業」を取り組んでいます。これは、化学肥料や農薬の使用を抑えつつ、使用する資源を循環させて自然環境への負荷軽減を目指すものです。地域に多くの恵みをもたらす農業が将来も永く続くよう、部会員はじめ各々の農家が様々な挑戦を続けています。例えば、当部会で生産する「秋の詩」を令和5年産から市内の学校給食に供給しています。農家だけがこの問題を取り巻く諸課題を共有し、一体となつてサステナブル(持続可能)な農業を目指していくことが大切だと思っています。



▲優秀賞を受賞した作品「みずかがみの里」。絶景は身近にありました。

より良い地域農業の発展を目指して
正組合員数の維持・拡大に
取り組んでいます



組合員が出資、運営、利用する協同組合組織＝JA東びわこでは、地域農業の基盤となる担い手農家や集落営農を支える多様な人材、次世代の人材との結び付きを強化することで組織基盤を強化し、より良い地域農業の発展を目指す中で、正組合員数の維持・拡充に取り組んでいます。

2月から9月にかけては正組合員加入促進期間として、組合員の皆さまへ積極的にお声掛けをさせていただいている。本取り組みの主旨に何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

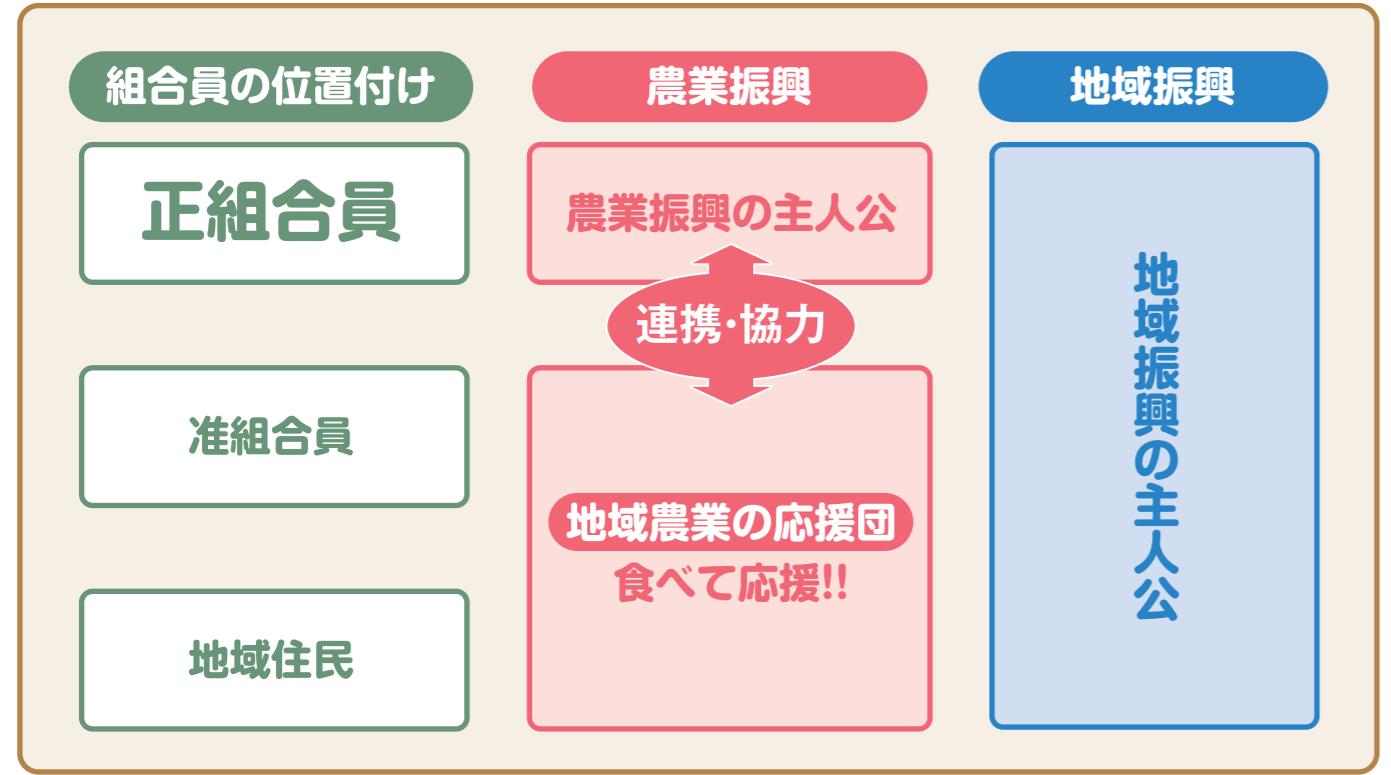
次の方々を中心に お声掛けしています。

- 農家（正組合員）世帯の配偶者、後継予定者
➡1戸に複数の方が正組合員になって
いただくことができます。
 - 新規就農者
 - 直売所出荷者
 - 准組合員で、家庭菜園をされている方
 - 相続手続等により農業を後継される方
- ※正組合員への加入や資格変更については、上記を含む所定の要件がございます。

正組合員になると 何ができるか？

出資配当金の受取や金融商品の優遇、文化教室「さんさん講座」と葬祭ホールの利用割引などのサービスは正組合員・准組合員問わずご利用いただけますが、准組合員はJAの運営を担う総代会等での議決権を持つことができません。
正組合員は、総代会で議決権行使することなどで、当JAの運営に参画することができます。
また議決権は、出資金額に関わらず一人につき1個です。

組合員の位置付けと農業振興・地域振興との関わり【図解】



詳しくは、お近くのJA職員までお気軽にお尋ねください。

PICKUP 地域のEすとニュース

J A 東びわこは、持続的な開発目標(SDGs)を支援しています。



令和6年能登半島地震 被災者支援

ペットボトル茶・パックご飯満載し出発



行つた出発式に支援物資を満載して

令和6年1月1日に発生した能登半島地震を受け、JAグループ滋賀は対策本部を設置し、同月15日に支援物資を発送しました。支援物資は、現地から要望があったペットボトル茶を約2万本と、パックご飯(きらめき)約1万パック。JA東びわこからは、オリジナル玄米茶約2,000本を準備しました。当日は野洲市の全農しが野洲総合センターで出発式を行い、当JA経営管理委員会

木村正利会長らが出席しました。対策本部のJA滋賀中央会・各連合会竹村敬三会長は、「先の見えない避難生活に不安が拭

いきれない状況が続いているが、一日も早く復興に向けた取り組みが進められることを切にお祈りする」とあいさつしました。

同本部や当JAでは、今後もJAグループ石川を通じ、要望に応じて支援を行う予定です。

愛荘農業生産研究会 農家所得増大に向け 試験結果を報告



北村太一郎会長ら
試験品種の食味を確かめる

愛荘農業生産研究会は1月18日、愛荘営農経済センターで水稻栽培報告・栽培研修会を開催しました。同会はこれまで、慣行品種における上位等級比率の伸び悩みをはじめとした課題に対して試験栽培に取り組んできました。

報告会では、「キヌヒカリ」と作期が同様で高温に強く多収の品種「歓喜の風」の試験栽培結果を報告。収量・品質ともに慣行区よりも優れ、今後の作付拡大へ期待できると報告しました。報告後は、「歓喜の風」の食味を確かめようと食味官能試験を実施。慣行品種と比べて上々の評価を得ました。

北村太一郎会長は、「会員が相互に研鑽し、農家所得の増大による農家の生産意欲向上と経営安定化を目指している。今後も試験栽培等を通じてより良い地域農業に取り組みたい」と意気込みを話します。

滋賀県初のオリジナル品種 「みおしづく」ブランド化 に向けメディア初公開



PRする中島部会長
カメラに向かって「みおしづく」を

滋賀県産イチゴの新品種「みおしづく」の収穫本格化に合わせて1月10日、イチゴ部会が初めて収穫作業をメディアに公開しました。

豊郷町で3千株の「みおしづく」を栽培する中島加代子部会長がテレビ局や新聞社の取材に応じ、「有名な百貨店に『みおしづく』が並んでいるのを自分の目で見てみたい。滋賀県のブランドイチゴをぜひ、たくさん的人に食べてもらいたい」と意気込みを話していただきました。

同部会では県内で唯一の生産部会体制を活かして産地化に取り組み、農家所得向上を目指しています。今後は5月までに約3万パックの出荷を見込み、県内の量販店を中心に販売されます。

協同組合の存在感を発揮

地域貢献活動「Eネットワーク」に取り組んでいます！



J A 東びわこでは、協同組合で働く職員として地域の多種多様な課題に取り組み、地域との関わりを強めようと、今年度から全正職員約300人が地域貢献活動「E ネットワーク」に取り組んでいます。

20の班に分かれた J A 職員が社会福祉協議会を通じて地域の14団体へ出向き、延べ約50回の活動を行いました。
今後も継続して地域貢献活動を行い、J A として地域で存在感を発揮できるよう取り組んでまいります。



今年度に実施した主な地域貢献活動の内容

- 献血啓発活動
- 制服、体操服リユース活動
- フードバンク寄付食材回収、仕分け
- 放課後児童クラブ、子ども食堂運営補助
- 彦根CLEAN大作戦（清掃活動）
- 障がい者の生活を楽にする自助具の制作

住み慣れた地域で
安心して暮らすために
デイサービスセンターで新年会



地域資源活用「赤いおこめパン」
行政と連携
「ひこねしちょーCH」でPR



直売所でVTRを収録する
宮尾理事長



彦根市の和田裕行市長が市内の話題を紹介するYouTubeチャンネル「ひこねしちょーCH」の生配信で1月15日、J A 東びわこのオリジナル商品「赤いおこめパン」を紹介いただきました。

VTR形式で当 J A の宮尾和孝理事長が出演し、手作りの赤兜を被って商品をPR。トップが率先して広報活動を行うことで組織のイメージアップを図るとともに、行政と連携を深めてより良い地域農業を目指していく狙いです。

生配信では市長が実際に商品を食べ、「賞味期限が長く、噛むほどに味わいが広がるパン」と感想をお話しいただきました。

当日の配信は動画として公開されています。
お手持ちのスマートフォンでコードを読み取って
ぜひご覧ください。



彦根市賀田山町のデイサービスセンター、同市高宮町のデイサービスセンターたかみやでは、1月 8 日から10日にかけて新年会を開きました。

縁起物が詰まったお祝い御膳に舌鼓を打ったほか、地域ボランティアの皆さんにご協力いただいて新年にふさわしいお琴の演奏、マジックショー、トランペットの演奏披露を楽しみました。

利用者が住み慣れた地域で安心して暮らせるようお手伝いしている J A 東びわこの事業では、パート職員を募集しています。詳しくは、P17をご覧ください。

産学包括連携協定で地産地消拡大へ

公立大学法人 滋賀県立大学学生へ農産物をPR



1月22日、J A 東びわこと滋賀県立大学は産学包括連携協定のつながりを活かし、地元農産物を学生へ提供するイベントを開きました。

取り組みには女性部、「多賀にんじんクラブ」、「多賀町蔬菜園芸組合」が協力し、特産品「多賀にんじん」や旬の冬野菜、地元のお米、「赤いおこめパン」などを提供しました。地域農産物を学生に食べて知ってもらうことで、魅力や価値に気づいてもらい、地産地消の拡大や地域活性化につなげることが目的です。

200人以上の学生が農産物を受け取り、農産物を手渡した女性部の佐々木洋子部長は「地域の女性部員が協力くださいました」と、「多賀にんじんクラブ」の小財源治部会長は「地域自慢の特産品をぜひ味わって」と、「多賀町蔬菜園芸組合」の栗本泉副組合長は「多賀町の野菜はおいしいよ」と学生へ話していました。

農産物を受け取った学生は、「新鮮な野菜や米をもらえてうれしい。地元でどのように作られているか、興味が湧いた」と話していました。

組合員向けにデジタル支援
スマホ教室賑わう



連携強化し法人経営の発展目指す
集落営農法人連絡協議会
10周年記念式典



開会あいさつをする
阪東隆会長

1月20日、湖東地域集落営農法人連絡協議会が多賀大社参集殿で10周年記念式典を開き、地域の集落営農法人役員ら約100人が出席しました。湖東地域の47集落営農法人が加入する同協議会では、互いの連携を強化して法人経営の安定や発展、地域農業の振興などを目的に研修会や情報交換を取り組んでいます。

はじめに阪東隆会長が「各法人の高齢化や担い手不足、法人組織体の再編等、共通の課題に対し協議・解決の場となるよう益々の発展を目指そう」とあいさつ。その後、設立時から長年に渡って協議会の運営に尽力された初代会長の茶木源重郎氏に感謝状を授与しました。

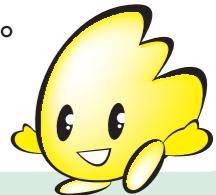
式典後は、「持続可能な農業・食料システムへ向けて～『みどりの食料システム戦略』の実現～」と題して農林水産省大臣官房みどりの食料システム戦略グループ長の久保牧衣子氏が講演。研修では、滋賀県農政水産部みらいの農業振興課参事の川村清隆氏が「これから滋賀県農業と『きらみずき』の役割」と題して説明しました。

自己改革の軌跡

J A東びわこは、地域になくてはならないJAであり続けるため、不断の自己改革を進めています。

J A東びわこ自己改革取り組み宣言

- ◆農家組合員の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に取り組みます。
- ◆協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんと話し合いを深めます。
- ◆「総合事業」の強みを活かし、「オール東びわこ」で組合員と地域になくてはならない組織であり続けます。



JA東びわこ
イメージキャラクター
“いっぴー”

J A自己改革とは？

協同の理念のもと、現在の事業や取り組みの総点検を行った上で改めて見直しを行い、組合員・地域住民が一体となって豊かな地域社会を実現するために行う取り組みです。

近年では自己改革を継続的に進めていくために、①組合員との徹底した対話によるニーズ把握②求められる取り組みの見える化③着実な実践④更なる対話を通じた組合員の評価等の把握といった「自己改革実践サイクル」を取り組んでいます。

令和5年度の自己改革に関連した取り組みをピックアップしてご紹介！

事業承継計画策定までの工程をトータルで支援する『JAグループ滋賀事業承継講座』

J A東びわこでは、JAグループ滋賀と連携し、農業経営の円滑な世代交代を支援するために、『JAグループ滋賀事業承継講座』に取り組んでいます。講座を活用しながら、幅広く相談対応をおこない、地域農業の持続と発展・地域の担い手確保を目指します。



組合員・地域住民と一体で豊かな地域社会に

J A東びわこは地域の活性化を図り、組合員と地域になくてはならない組織であり続けるために、正・准組合員のメンバーシップの強化に取り組みました。

彦根市荒神山公園で開催した大感謝祭では、女性部による加工品販売や農産物直売所出荷者部会のフードロス削減を掲げた炊き出しを行い、組合員・地域住民の一体感を高めました。

准組合員は地域農業の応援団「准組合員モニター制度」スタート

准組合員の声をJA運営に反映しようと「准組合員モニター制度」を開始しました。ライン公式アカウントを活用し、管内に在住する18～60歳の准組合員からランダムに抽出した2,000人に呼び掛け、先着500人を准組合員モニターとして登録。地域農業を応援するパートナーでもある准組合員の視点から商品や事業に対する意見・要望を聞き取り、聞きとった意見を事業に反映できるよう取り組んでいきます。



協同組合ならではのサービスを顧客本位の提案で事業強化

一番身近な金融機関として組合員・利用者のニーズを適切に把握し、顧客に寄り添った商品提案や相談機能の充実を図ろうと、毎週土曜日に本店で金融相談会を行っているほか、顧客本位なライフプランサポートの継続的な実践に向け、農林中央金庫やJAバンク滋賀信連の支援を受けて資産形成サポートプログラムに取り組みました。



農家負担軽減へ1市4町の首長・県に9項目を要請

J Aは果樹面積拡大の計画を進める中で、果樹棚など初期投資にかかる農家負担の軽減や農業改良普及員の増員を要請内容として新たに加え、農業生産資材価格の高騰・高止まりに対する農家支援など9項目を彦根市と愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町の首長や県へ支援要請を行いました。



今回は誌面の都合上、取り組みの一部をご紹介しました。

組合員・地域の皆さんに信頼され満足いただけるJAを目指し、今後もJA自己改革に取り組んでまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

「学び」と「つながり」で将来の地域リーダー育成へ組合員大学「あぐりライフ」開校

組合員大学では、組織や地域を牽引する将来の地域リーダー育成を目的に、農業経営への知識・技能・創造力、人間力の向上など充実した「学びの場」を参加者へ提供。近い将来に世代交代で地域農業を担う予定の農家など、将来の地域を担っていく意欲のある参加者が取り組みを通じて見聞を広め、広い視野を持つことで地域農業を継続させる力を養い、参加者同士のつながりを生み出しています。



果樹の担い手育成へ向け実践指導ブドウトレーニング施設始動

ブドウトレーニング施設では、ブドウをはじめとした果樹の需要が高まる一方で栽培を始めたい農家の研修機会が少ない課題に対応するため、JAが県などと連携して栽培指導を行っています。研修の参加には修了後もJA直売所や地元市場に出荷して産地化に貢献することなどを条件とし、将来的に地域で果樹農家の中核として活躍してもらえる人材の育成を見込んでいます。



支店NEWS

稻枝支店

J Aらしさで、
皆さまのお役に立ちたい!



支店長
三和 孝

支店運営委員会でいただいた提案の実現に向け、稻枝支店オリジナル企画「NISAセミナー」を2回に分けて開催しました。令和6年1月から「新NISA制度」がスタートしたことから、地域住民の関心が高く、多くの方にご参加いただきました。資産形成をはじめとするJAの事業をより身近に感じていただくことができたのではと思います。

今後も貯金・融資・共済を含め、利用者さまの生活に根ざした総合相談機能を発揮できるよう職員一同努めてまいります。何卒よろしくお願ひいたします。



▲地域単位で開いてくれてとても助かると好評でした!

ふれあい支店

耳寄り情報を添えて、
親しみある支店づくり!



支店長
森 雅世

当支店をもっと身近に感じていただこうと1支店1協同活動に取り組む中で、昨年12月に実施したクリスマスイベントが好評でしたので紹介します。

クリスマスを目前に控えた営業日、支店前の畑で育てたサツマイモで作った蒸しパンをレシピと一緒に来店いただいた方へプレゼントしたところ、「おいしかったわ!また作ってみるわ!」と大変うれしい声をたくさんいただきました。この蒸しパンはJAオリジナルの「むしパンミックス」でとっても簡単に作ったものなのです!手軽に、そしておいしく仕上げられるとても便利ないち押し商品です!

今後もちょっと耳寄りな情報を添えて、親しみある支店づくりを目指して取り組んでまいります。



▲「むしパンミックス」は好評販売中です!
▲大変好評だったサツマイモの蒸しパン

見た目ではわからない障がい

3月3日は桃の節句として知られていますが、「耳の日」でもあることをご存知でしょうか。耳の日は日本耳鼻咽喉科学会の提案によって、一般の人たちにも耳の病気のことや健康な耳の大切さを知ってもらうため1956年(昭和31年)に制定され、毎年3月3日には啓発活動等も行われています。

聴覚障がいのある人はその見た目だけでは障がいがあることが分かりづらく、呼びかけられても気付かない、緊急時の警報やサイレンなどが聞き取れず取り残されてしまうといったように、十分な理解が得られず誤解されたり、困っていても気付いてもらえないことがあります。

近年では聴覚障がいに限らず、障がいのある人に対して合理的な配慮が求められるようになってきました。本当に必要な支援は相手や置かれた状況によって異なるため見極めることは難しく、だからこそ、障がいのある人でもない人でも困っている人と接する際には、一人ひとりと向き合おうとする意思をもってコミュニケーションをとることが一番大切なことなのではないでしょうか。

田市 人権コラム「心、豊かに」より 一部抜粋



水稻育苗の準備について

令和6年産米に向けて種子の準備を進めましょう。

自家採種を繰り返すと味や品質、収穫量や病気に対する抵抗性が低下する恐れがあります。種子更新は必ず毎年行いましょう!

種子準備の作業は下記の流れとなります。良品質米のために実施しましょう。

選 種

消 毒

浸 種

催 芽

水切り

播 種

選種(塩水選)

種粉は玄米が充実しているほど発芽率が良いため、比重を調整して選種します。不稔粉や登熟不良の粉は浮くので取り除きましょう。また塩水選後、塩分を取り除かないで発芽障害を起こすため、粉は十分に水洗いしましょう!

	比重	水10ℓに加える食塩の量	水10ℓに加える硫安の量
うるち種	1.13g/cm³	2.01kg	2.56kg
もち種	1.10g/cm³	1.22kg	1.50kg

消毒

イネの種子には多くの病原菌が付着しているため、種子の消毒を行う必要があります。消毒には、温湯消毒と薬剤による消毒があります。JA東びわこで供給している苗は全て温湯消毒法で消毒しています。

浸種

吸水ムラによる発芽不良を防ぐため種子の2倍以上の水で浸漬し、種粉は積算温度が100℃(平均水温が10℃の場合10日間)で発芽します。浸種時の水温が20℃以上の場合は、浸種ムラが発生し発芽の揃いが悪くなり、浸種中に発芽することがあります。

青年農業者が農家生活などの自らの体験を通じて日頃考えていることを伝える意見発表では、安居さんが「未来に『つなげる』私と農業」と題して発表しました。

今後も当クラブでは、各クラブ員の経営発展に向けて各種取り組みを展開していきます。

湖東地域(彦根市・多賀町・甲良町・豊郷町・愛荘町)で農業に携わる若手農業者の集い
ファーマーズクラブ

ことのわ通信

近畿大会で
プロジェクト発表・意見発表

1月24日、青年農業者によるプロジェクト発表・意見発表の近畿大会が兵庫県で開催され、滋賀県代表として当クラブの西田昌起さんと安居佑馬さんが出場しました。

経営上の課題解決や経営・技術向上に向けて活動の成果を伝えるプロジェクト発表では、西田さんが「大豆の狭条無耕・無培土技術の検討」と題して発表しました。

『ファーマーズクラブことのわ』では、湖東地域で農業を営む35歳までの仲間を募集しています!

■ファーマーズクラブことのわ事務局 湖東農業農村振興事務所農産普及課内 青年農業者担当 ☎0749-27-2228

2025年度 新規学卒者採用職員の募集について

- 応募資格／2025年3月に4年制大学・短期大学卒業見込みの者または卒業後3年以内の者(全学部・全学科)
- 採用予定人数／大学・短期大学卒14名
- 募集職種／総合職(窓口・涉外・事務・営農指導他)
- 応募方法／①マイナビのエントリーシートによる応募
②履歴書の郵送または持参による応募
※①②どちらでも応募可。
- 応募書類／①職員採用試験申込書②履歴書(写真添付)
③卒業見込み証明書④成績証明書⑤職務経歴書(既卒者)
※①は本店・支店事業所に設置またはホームページからダウンロードが可能です。
※③④は応募受付期間中に取得ができない場合、後の提出でも応募が可能です。
- 応募受付期間／2024年3月18日(月)～3月25日(月)必着
※持参の場合は3月25日(月)17:15まで
詳しくは当JAホームページまたはマイナビをご覧いただけます。

【事業説明会】

- 日程／2024年3月中旬
対面およびリモート(zoom)にて開催予定
- ※事業説明会へのエントリーはマイナビよりお願いします。詳細はHPまたはマイナビをご覧ください。
- J A 東びわこホームページ
スマホのカメラやQRコードリーダーで読み取ってください！

- お問い合わせ／企画総務部 総務人事課
採用担当 高木 ☎0749-28-7800

秘密厳守 完全予約制 弁護士による無料法律相談会

組合員向けの法律相談会です。相談内容は相続・離婚・債務整理・交通事故など種類は問いません。(相談時間はお1人様25分以内)

令和6年3月21日(木)

[15:00・15:30・16:00・16:30]

- 場所／JA東びわこ本店
- お問い合わせ／金融部(担当:西村) ☎0749-28-7810

ひまわりめがね展示相談会

来て、見て、試してください!!補聴器も体験できます!!

●3月のスケジュール

鳥居本支店	11日(月)	9:30～14:00
彦根北支店	12日(火)	
彦根中央支店	13日(水)	
彦根東支店	14日(木)	
彦根南支店	15日(金)	

※スケジュールは予告なく変更・中止になる場合がありますのであらかじめご了承ください。

購買事業 臨時休業のお知らせ

棚卸業務のため、下記日程で購買事業を臨時休業といたしますのでご注意ください。

●臨時休業日／

令和6年3月29日(金)終日

- 対象／全支店・全営農経済センターの購買事業(肥料・農薬・生活用品など【配達業務含む】)
ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。
- お問い合わせ／お近くの支店・営農経済センターへお気軽にお尋ねください。

福祉パート職員募集

訪問ヘルパー

- 就業場所／愛いステーション
(彦根市賀田山町234-6)
- 時給／1,200円～2,000円
(別途手当あり)
- 必須資格／介護職員初任者研修修了者
普通自動車運転免許



送迎ドライバー

- 就業場所／愛いステーション
(彦根市賀田山町234-6)
- 時給／1,000円
(変則4時間勤務/日)
- 必須資格／普通自動車運転免許



【この求人に関するお問い合わせ】

総務人事課 ☎0749-28-7800

※詳細はハローワーク求人票をご確認ください。

JAインフォメーション



ご家族、ご親族の方が
ゆっくりお見送りできる家族葬
ご家族に合ったご葬儀を
ご提案いたします。

JA東びわこ やわらぎ彦根
TEL(0749)30-9160

やわらぎ彦根 ご家族葬専用ホール
令和6年3月1日(金) OPEN

新NISAスタートダッシュ! キャンペーン

JAでNISAを始めるなら今がチャンス!
この機会にJAで資産形成をはじめてみませんか?

なんと!『NISA口座お手伝い キャンペーン』

期間中に、当JAでNISA口座を開設いただいた
すべての方に!

JA東びわこ農産物直売所クーポン券

500円分をプレゼント!



さらに最大で!『資産形成・運用デビュー キャンペーン』

令和5年12月以降にNISA口座を開設された方が
所定の条件を満たす!

22,000円分のギフト券を
プレゼント!

※詳しくは支店担当者まで
お聞きください。

令和6年3月29日(金)まで!

くるまの保障は、やっぱりJA!

自動車共済 クルマスター



えつ!
こんなに安くなるの?!

この機会にぜひお見積りを!
キャンペーン実施中!



連絡先一覧

ご注文やお問い合わせご相談など、
どんなことでもお気軽にご連絡ください
(市外局番 0749)



万が一の時はこちらまで (24時間365日対応)

●自動車のトラブル (JA共済にご契約の方)

・事故のとき 平日 8:30 ~ 17:00 **28-7899**
自動車安心サポートセンター

夜間 休日 **0120-258-931**
ジコはクミアイ

・故障のとき **0120-063-931**
レッカーロードサービスはクミアイ

●ガスのことなら 全農関西エネルギー株式会社彦根販売所

28-2266
ゴヨウはクミアイに

●葬祭のことなら **0120-54-9312**

●介護のことなら

28-7171 (愛あいステーション)

28-7878 (デイサービスセンター)

24-1177 (デイサービスセンターたかみや)

24-1166 (愛あいステーションたかみや)

- 相続対策のことなら **28-7830** (資産相談センター)
- 住宅ローンのことなら **26-9101** (ローンセンター) ローンはクミアイ **0120-68-9381** (固定電話からのみ)
- 年金のことなら **28-7830** (年金相談センター)
- 農業機械のことなら **28-2227** (JA全農しが彦根農機センター)
- ガスのことなら **28-2266** (全農関西エネルギー株式会社彦根販売所)
- お米のことなら **28-7818** (お米センター) **0120-89-0408**
- 灯油・軽油のことなら **35-4411** (東部資材・配送センター) **28-9830** (彦根資材・配送センター) **43-5921** (稻枝給油所)
- 駐車場のことなら **28-7801** (企画課)

定例理事会 令和6年1月30日(火)13:30~

第1号議案 稲枝給油所の今後の運営方法の変更及び改修工事にかかる固定資産取得と請負工事発注の件

第2号議案 出資口数の減少確認の件

第3号議案 コンプライアンスマニュアルの一部変更の件

第4号議案 2025年度 新規学卒者採用【総合職・専門職】の件

第5号議案 令和5年産そば概算金の設定の件

第6号議案 令和4年産そば最終精算の件

全議案承認されました

監事会 令和6年1月30日(火)10:30~

協議事項はありませんでした。

編集後記

「ひこにゃん」を見た5歳の息子がひと言。
「あ!ネコ!!」そりゃそうやけども。(りょう)

1月号から始まったおい食べコーナー!おかげでたくさんの方にご応募いただき、いつも癒されています(笑)まだまだご応募お待ちしておりますのでぜひ♪(まっすん)

「食」と「農」 都市と農村 つなげる紙面

購読料 本紙 **2,623円**
1ヶ月 (税込み)
電子版 **2,403円**

●購読のお申し込みは JA東びわこへ

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞
<https://www.agrinews.co.jp>
知る、活かす、つなぐ~JAグループ情報共有活動



J A 東びわこの農産物直売所

■営業時間 / 9:00 ~ 17:00

■定休日 / 年末年始



美浜館

彦根市石寺町2256
(湖周道路沿い)
0749-43-5692
fm.mihamakan

※令和6年3月19日(火)まで
冬期休業しております。



やさいの里

彦根市賀田山町234-6
(彦根市役所亀山出張所東側)
0749-28-1238
yasaino.sato



やさいの里二番館

彦根市平田町790
(彦根中央支店南側)
0749-27-7733
yasaino.sato2



やさいの里あいしょう館

愛荘町市1585
(愛知川支店北側)
0749-42-2700
yasainosato.aisyoukan

今 年のお正月は暖かくて良かったです。でも、自然災害や事故、火事などが続いており、大変な年の幕開けとなりました。私の今年の目標は毎日1つでもいいので嬉しかったことをみつけて日記に書いていこう!!と思います。
〈多賀町〉八木 淳子さん

地域でつなぐ 読者のわ

1月号のお便り

お便り募集中!
詳細はP15をご覧ください。

地 域で輝くEひとの若林さん。ご高齢にもかかわらず、「感謝の心を忘れずに」挑戦と工夫の農業を実践されていて、素晴らしいと思いました。

〈甲良町〉川西 久美江さん

オリジナル川柳

- 親子猿 屋根から眺める 鏡もち
- いつまでも 飾っておきたい 松竹梅

〈彦根市〉伊東 富子さん

愛しのわが子 & わが孫に
安全安心なものを食べさせたい!

おい食べ♥コーナー



〈彦根市〉日高 彩花さん



〈豊郷町〉前田優伽くん(5才) 〈多賀町〉はるまりさん(1才)

J A 東びわこでは「食」の安全の観点からも、地元で採れた安全な農産物の推進=地産地消を進めています。

地元のお米や野菜などを食べている、お子さま&お孫さま(0~12才)の写真を送ってください!

誌面で紹介された方には、地元の安全安心な農産物が集まるJ A直売所で使える**1,000円分のクーポン**をプレゼント!

※応募者は東びわこ管内にお住まいの方に限ります。
※ニックネーム可

スマホでコードを読み取って
ご応募ください! ➡



〈愛荘町〉福嶋 たみ子さん